設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
施　設	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による 中央管理装置内で重複不可 ○○工事事務所
	工事事務所番号				
	施設名				
	施設区分		○		中継局、出張所、事務所、地方整備局、本省、その他
	所在地				住所
	連絡先	電話番号	○		
		FAX番号			
	所在地点	KP			
		KP±			
		緯度			
		経度			
	備　考				
管路	管理者名		○		事務所名等
	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による 管路１つ毎に重複しない名称 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	工事事務所番号				
	管路名				
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合は管路名。
	布設方式		○		情報BOX、埋設管路等
	型式略称		○	■	統一マスタ（管路型式略称コード）から選択
	仕様	型式	○	●	入力時は管路形式マスターデータから選択
		メーカ名	▲		管路形式マスター項目からの自動設定
		寸法	▲		管路形式マスター項目からの自動設定（外径、内径等）
		材質	▲		管路形式マスター項目からの自動設定（HDPE等）
	利用情報	収容ｹｰﾌﾞﾙ条数	○		
		利用者名等			
	接続MH	始点側MH	○		
		始点側管口No.			
		終点側MH	○		始点側と反対側を終点とする。
		終点側管口No.			
	管路長				起点側MH～終点側MH間
	管端埋設深さ	始点側埋設			
		終点側埋設			始点側と反対側を終点とする。
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設備図面	図面No.			
		図面データ			標準図面および特殊部の断面図(1設備に対して複数登録可能)
	設置年月日				
	備考				
MH	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による MH１つ毎に重複しない名称 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	工事事務所番号				
	MH名				
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合はMH名。
	型式略称		○	■	統一マスタ（MH型式略称コード）から選択
	管理主体コード		○		「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	仕様	型式	○	●	入力時は、MHマスターデータから選択
		メーカ名	▲		MHマスター項目からの自動設定
		寸法	▲		MHマスター項目からの自動設定
	蓋の形状	型式	○	●	入力時は、MH蓋マスターデータから選択
		メーカ名	▲		MH蓋マスター項目からの自動設定
		寸法	▲		MH蓋マスター項目からの自動設定
	実装数	クロージャ数	○		
		ケーブル数	○		
	布設地点	KP	○		
		KP±			
		緯度			
		経度			
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設置年月日				
	備考				

設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
電柱	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による 電柱１つ毎に重複しない名称 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	工事事務所番号				
	電柱名				
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合は電柱名。
	管理主体コード		○		「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	所有者名		○		借用先名
	設置場所				住所
	場所区分		○		国道、県道、市道、私道、国有地、私有地等
	仕様	材質			
		メーカ名		■	入力する場合は、統一マスタ（会社コード）から選択
	布設地点	KP	○		
		KP±			
		緯度			
		経度			
	添架総条数				添架位置別条数の合計
	添架	位置			複数位置表示可とする
		条数			添架ケーブル本数
		備考			
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設備図面	図面No.			
		図面データ			外観図、構造図等(1設備に対して複数登録可能)
	設置年月日				
	備考				
径間	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による 径間１つ毎に重複しない名称 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	工事事務所番号				
	径間名				
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合は径間名。
	径間設備	設置設備名1	○		径間両端の設備名
		設置設備名2	○		
	径間長		○		単位m
	備考				
ケーブル	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による ケーブル１つ毎に重複しない名称 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	工事事務所番号				
	ケーブル名				
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合はケーブル名。
	用途種別区分		○		線路コード（線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様）を設定
	管理内容	管理者	○		
		利用者			
		用途			
	始点側接続設備名		○		
	終点側接続設備名		○		始点側と反対側を終点とする。
	ケーブル長	総長	○		単位m
		始点側余長	○		
		終点側余長	○		始点側と反対側を終点とする。
	型式略称		○	■	統一マスタ（ｹｰﾌﾞﾙ型式略称コード）から選択
	仕様	型式	○	●	入力時はケーブルマスターデータから選択
		メーカ名	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		外径	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		シース種	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		スロット種	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		総テープ数	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		総心線数	▲		ケーブルマスター項目からの自動設定
		製造番号			
	心線種別(1)	種別	○		
		心数	○		
	心線種別(2)	種別			
		心数			
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設置年月日		○		
	備考				

設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
クロージャ	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				クロージャ１つ毎に重複しない名称
	クロージャ名				「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合はクロージャ名。
	接続点アドレス		◎		線路監視の接続点アドレス 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	管理主体コード		○		「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	設置場所設備	設備区分	○		MH、電柱、施設
		設備名	○		同上の設備名
	管理内容	管理者	○		
		利用者			
		用途			
	型式略称		○	■	統一マスタ（ｸﾛｰｼﾞｬ型式略称コード）から選択
	仕様	型式	○	●	入力時はクロージャマスターデータから選択
		メーカ名	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
		寸法	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
		端面板	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
		浸水検知有無	○		
	収容可能数	トレイ数	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
		ｹｰﾌﾞﾙ条数	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
		接続心線数	▲		クロージャマスターデータ項目からの自動設定
	実装数	トレイ数			
		使用トレイ数			
		ｹｰﾌﾞﾙ条数	○		
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設置年月日		○		
	備考				
成端箱	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				成端箱１つ毎に重複しない名称
	成端箱名				「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	接続点アドレス		◎		線路監視の接続点アドレス 「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合は成端箱名。
	管理主体コード		○		「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	設置場所設備	設備区分	○		MH、電柱、施設
		設備名	○		同上の設備名
	管理内容	管理者	○		
		利用者			
		用途			
	型式略称		○	■	統一マスタ（成端箱型式略称コード）から選択
	仕様	型式	○	●	入力時は成端箱マスターデータから選択
		メーカ名	▲		成端箱マスターデータ項目からの自動設定
		寸法	▲		成端箱マスターデータ項目からの自動設定
	容量	融着ﾕﾆｯﾄ数	▲		成端箱マスターデータ項目からの自動設定
		ｺﾈｸﾀ接続ﾕﾆｯﾄ数	▲		成端箱マスターデータ項目からの自動設定
		接続心線数	▲		成端箱マスターデータ項目からの自動設定
	実装数	融着ﾕﾆｯﾄ数			
		融着心線数			
		ｺﾈｸﾀ接続ﾕﾆｯﾄ数			
		ｺﾈｸﾀ接続心線数			
		ｹｰﾌﾞﾙ条数			
	分岐先	分岐数			
		分岐先名称			複数名称設定可能
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設置年月日		○		
	備考				

設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
機器・装置	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				機器・装置１つ毎に重複しない名称
	機器・装置名				中央管理装置内で重複不可
	呼称		◎		一般呼称。任意の名称を入力可能。未入力の場合は機器・装置名。
	機器種別		○		ＣＣＴＶ、情報コンセント等
	管理主体コード		○		「光ファイバ線路アドレス仕様」による
	管理内容	管理者	○		
		利用者			
		用途			
	型式略称		○	■	統一マスタ（機器・装置型式略称コード）から選択
	仕様	型式	○	●	入力時は機器・装置マスターデータから選択
		メーカ名	▲		機器・装置マスター項目からの自動設定
	設置地点	KP	○		
		KP±			
		緯度			
		経度			
	工事件名	工事名	○	●	入力時は工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	設置年月日				
	備考				
接続箱心線構成	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				
	接続箱名				成端箱またはクロージャ名称
	ケーブル１名		○		ケーブル名称
	ケーブル１心線	スロットNo.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
		テープNo.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
		心線No.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
	ケーブル２名		○		ケーブル名称
	ケーブル２心線	スロットNo.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
		テープNo.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
		心線No.	○		接続ｹｰﾌﾞﾙの心線情報
	収容状態	トレイNo.	○		対象設備は成端箱とクロージャとする
		接続方法	○		対象設備は成端箱とクロージャとする
	ﾙｰﾄ名		○		
	設置年月日		○		
	備考				
ﾙｰﾄ管理情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				
	ﾙｰﾄ名称				中央管理装置内で重複不可
	利用状況				0/1=空き/使用中
	用途				0/1/2= 通信線監視線利用線
	起点設備名				
	開始ｹｰﾌﾞﾙ名				
	ｽﾛｯﾄ番号				
	ﾃｰﾌﾟ番号				
	心線番号				
	終点設備名				
	利用開始日				
	利用終了日				
ｹｰﾌﾞﾙ通過情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				
	ｹｰﾌﾞﾙ名				ケーブル名称
	接続順番号				ケーブルの通過する設備（管路または径間）の順番号
	通過設備名称				管路名称または径間名称
ｹｰﾌﾞﾙ構成情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ｱﾄﾞﾚｽ仕様による
	工事事務所番号				ケーブルの１心線ごとの情報を管理する。
	ｹｰﾌﾞﾙ名				
	ｽﾛｯﾄ番号				
	ﾃｰﾌﾟ番号				
	心線番号				
	色		○		
	心線状態		○		0/1=使用可/使用不可
	利用可否区分		○		0/1=利用可/利用不可

設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
利用区間情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄﾘ仕様による 同一区間名称で同一指定年月日データは重複不可
	工事事務所番号				
	利用区間名称				
	利用指定年月日				
	起点設備名称				ｸﾛｰｼﾞｬ名または成端箱名
	終点設備名称				ｸﾛｰｼﾞｬ名または成端箱名
利用ﾙｰﾄ情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄﾘ仕様による 中央管理装置内で利用ルート名の重複不可
	工事事務所番号				
	利用ﾙｰﾄ名称				
	利用区間名称		○		
	起点ｹｰﾌﾞﾙ	ｹｰﾌﾞﾙ名称	○		
		ｽﾛｯﾄ番号	○		
		ﾃｰﾌﾟ番号	○		
	終点ｹｰﾌﾞﾙ	ｹｰﾌﾞﾙ名称	○		
		ｽﾛｯﾄ番号	○		
		ﾃｰﾌﾟ番号	○		
利用ﾙｰﾄ 通過情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄﾘ仕様による 中央管理装置内で利用ルート名の重複不可
	工事事務所番号				
	利用ﾙｰﾄ名称				
	接続順番号		○		利用ルートのケーブルテープの順番号
	ｹｰﾌﾞﾙ名称		○		
	ｽﾛｯﾄ番号		○		
	ﾃｰﾌﾟ番号		○		
利用情報 管理情報	地方整備局番号		◎		地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄﾘ仕様による 中央管理装置内で利用ルート名の重複不可
	工事事務所番号				
	利用ﾙｰﾄ名称				
	利用状況		○		0/1=未利用/利用済み
	利用開始年月日		○		
	利用終了年月日		○		
	利用会社名		○	■	統一マスタ（利用会社）から選択

設備属性情報データベース内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスターデータ選択　●設備参照マスターから選択
▲設備参照マスターからの自動入力
必須項目の空白部分は、オプション入力。特記仕様書で規定

設備名	DB項目		必須項目	選択項目	項目内容
ケーブル試験総括	測定区分		○		新設、補修、改修等
	地方整備局番号		◎		
	工事事務所番号				
	測定試験管理番号				
	測定工事件名	工事名	○	●	工事名マスターデータから選択
		施工業者名	▲		工事名マスター項目からの自動設定
		工期	▲		工事名マスター項目からの自動設定
	測定距離		○		単位km
	接続点数		○		
	コネクタ接続箇所		○		
	ケーブル条件		○		
	測定波長		○		単位μm
	伝送損失		○		規格値
	光パワーメータ補正値		○		
	標準偏差の補正値		○		
	総括試験結果	規格値	○		
		最大値	○		
		最小値	○		
	備考				
ケーブル試験詳細	地方整備局番号		◎		
	工事事務所番号				
	測定試験管理番号				
	測定心線名				
	測定区間	起点側設備名	○		
		終点側設備名	○		
	測定条件	測定日	○		
		天候	○		
		気温	○		
	測定試験条件	接続箇所数	○		
		測定波長	○		単位μm
		測定場所	○		
		測定器名	○		
		屈折率	○		
		接続損失規格	○		
	心線測定結果	接続点	○		
		距離	○		単位km
		測定値	○		接続損失の最大値
		伝送損失	○		
	備考				

※年月日については、西暦年月日を標準とする。

設備参照マスター内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスタから選択項目

マスター名	DB項目	キー項目	項目内容
管路形式	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	寸法	○	
	材質	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H
工事名	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	工事名		中央管理装置内重複不可
	施工業者名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	工期	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H
MH	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	寸法	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H
MH蓋	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	寸法	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H
ケーブル	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	外径	○	
	シース種	○	
	スロット種	○	
	総テープ数	○	
	総心線数	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H
クロージャ	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾙ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	寸法	○	
	端面板	○	
	浸水検知有無	○	
	トレイ数	○	
	ｹｰﾌﾞﾙ入条数	○	
	ｹｰﾌﾞﾙ出条数	○	
	接続心線数	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H

設備参照マスター内容

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可
■統一マスタから選択項目

マスター名	DB項目	キー項目	項目内容
成端箱	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	寸法	○	
	融着ﾕﾆｯﾄ数	○	
	ｺﾈｸﾀ接続ﾕﾆｯﾄ数	○	
	接続心線数	○	
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分	○	登録：空白　変更：H
機器・装置	データ区分	○	固定番号
	地方整備局番号	◎	地方整備局番号、工事事務所番号は線路ﾃﾞﾚｸﾄ仕様による
	工事事務所番号		
	型式		中央管理装置内重複不可
	メーカ名	■	統一マスタ（会社コード）から選択
	登録年月日	○	データ作成時の西暦
	更新区分		登録：空白　変更：H

※年月日については、西暦年月日を標準とする。

凡例　◎項目内容の重複不可　○省略不可

統一マスター内容

データベース名	データベース項目	必須項目	項目内容
会社コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	会社名		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
	状態フラグ	○	0/1=データあり/データなし
利用会社	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	利用会社		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
	住所1	○	
	住所2		
	電話番号	○	
	FAX番号		
	担当部署	○	
	担当者	○	
	備考		
	状態フラグ	○	0/1=データあり/データなし
管路型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
MH型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
ケーブル型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
クロージャ型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
成端箱型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可
機器・装置型式略称コード	登録年月日	○	登録した時の年月日
	更新年月日	○	更新した時の年月日
	地方整備局番号	◎	統一マスタ内で設定。統括管理装置での登録の場合は
	工事事務所番号		地方整備局番号=X、工事事務所番号=XXとする
	略称名称		地方整備局番号、工事事務所番号内で名称の重複不可

※年月日については、西暦年月日を標準とする。

図形データベース

光ファイバ線路中央管理装置で管理する図形データベースに関する内容を記述する。
以下で使用される「地方整備局番号」、「工事事務所番号」は第７編「光ファイバ線路アドレス仕様」による。

1.設備図データ

1) 図面体系

●平面直角座標系のIX系を基準としてセンチメートルで表現する。

●メッシュサイズ

縦 3000m

横 5000m

●図面番号

平面直角座標系のIX系原点を基準として左右方向に X 番号、上下方向に Y 番号とし、各４桁で表現する。

右方向に＋１、左方向には４桁の先頭に１をつけ、＋１づつ番号を振る。

上方向に＋１、下方向には４桁の先頭に１をつけ、＋１づつ番号を振る。

●図面種類

以下の表示縮尺にあわせた２種類の設備図面をもつこととする。

詳細図：1/2500 相当で表現される図面

広域図：1/25000 相当で表現される図面

2) 図面ファイル名称

%AAXXXXYYYY

%：設備図の図面種類を判別する１文字とする。

詳細図：S

広域図：R

AA：地方整備局番号（前 0、2 桁）

XXXX：X 番号であらわされた図面番号（前 0、4 桁）

YYYY：Y 番号であらわされた図面番号（前 0、4 桁）

2 系統図面データ

・各工事事務所内ごとに作成されるデータ。

1) 図面体系

●左下座標を原点として、ワールド座標で表現する。

●図面サイズ

縦 11600

横 16800

●図面番号

８桁（AABBZZZZ）

AA：地方整備局番号（前 0、2 桁）

BB：工事事務所番号（前 0、2 桁）

ZZZZ：工事事務所内管理装置で重複の無い番号（前 0、4 桁）

2) 図面ファイル名称

AABBZZZZ

図面番号であらわされたファイル名とする。

桁数に満たない番号の場合は、各前 0 で表現する。

4. 図形要素

1) 設備図形キー

設備図形データはすべて、以下の形式の設備図形キーを持ち、図形データと属性データベースは、設備図形キーにより関連付けられていることとする。

形式）AABBZZZZZZZZZZZ

説明）AA：地方整備局番号(前 0,2 桁)

BB：事務所番号(前 0,2 桁)

ZZZZZZZZZZZ：設備ごとのシリアル番号(前 0,12 桁)で管理装置で設定される。

2) レイヤ

設備図形データは、図形形状、名称・文字を区別できるように、レイヤで管理する。

レイヤの種類は以下とする。

設　備　内　容		説　　明
施設	形状	設置装置なし
		成端箱のみ
		測定装置＋成端箱あり
		測定装置＋監視装置＋成端箱あり
	名称	設置装置なし
		成端箱のみ
		測定装置＋成端箱あり
		測定装置＋監視装置＋成端箱あり
MH・HH・PB	形状	MH・HH シンボル（クロージャまたは成端箱なし）
		MH・HH シンボル（クロージャまたは成端箱あり）
		PB・その他シンボル（クロージャまたは成端箱なし）
		PB・その他シンボル（クロージャまたは成端箱あり）
	名称	MH・HH クロージャまたは成端箱なし
		MH・HH クロージャまたは成端箱あり
		PB・その他クロージャまたは成端箱なし
		PB・その他クロージャまたは成端箱あり
電柱	電柱	自営柱（クロージャまたは成端箱なし）
		自営柱（クロージャまたは成端箱あり）
		借用柱（クロージャまたは成端箱なし）
		借用柱（クロージャまたは成端箱あり）
		その他（クロージャまたは成端箱なし）
		その他（クロージャまたは成端箱あり）
	名称	自営柱（クロージャまたは成端箱なし）
		自営柱（クロージャまたは成端箱あり）
		借用柱（クロージャまたは成端箱なし）
		借用柱（クロージャまたは成端箱あり）
		その他（クロージャまたは成端箱なし）
		その他（クロージャまたは成端箱あり）
クロージャ	形状	
	名称	
ケーブル	形状	基線
		幹線
		本線
		支線
		基線・幹線
		幹線・本線
		本線・支線
		基線・幹線・本線
		基線・幹線・本線・支線
		その他

設　備　内　容		説　　明
ケーブル	文字	基線関連文字
		幹線関連文字
		本線関連文字
		支線関連文字
		基線・幹線関連文字
		幹線・本線関連文字
		本線・支線関連文字
		基線・幹線・本線関連文字
		基線・幹線・本線・支線関連文字
		その他関連文字
径間	形状	
	文字	
管路	形状	
	文字	関連文字
成端箱	形状	
	名称	
機器、装置	形状	CCTV
		ビーコン（上り）
		ビーコン（下り）
		情報板（上り）
		情報板（下り）
		水位計
		水質計
		情報コンセント
		気象観測
		凍結検知
		警報局
		交通量観測
		地震計
		光センサー
		その他
	名称	CCTV
		ビーコン（上り）
		ビーコン（下り）
		情報板（上り）
		情報板（下り）
		水位計
		水質計
		情報コンセント
		気象観測
		凍結検知
		警報局
		交通量観測
		地震計
		光センサー
		その他

2)線種・線幅・表示色

各設備の線種・線幅・表示色は、「別紙要領－５　シンボル形状」による。

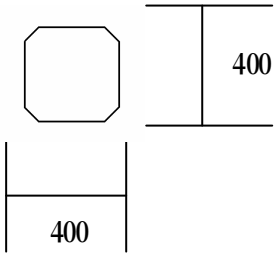
シンボル形状

以下のサイズは詳細図の場合とし、広域図の場合は、詳細図の1.5倍、系統図の場合は、詳細図の1/2倍とする。また、下記の数値は比率を表すものとする。

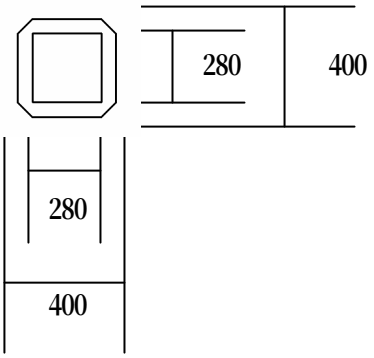
詳細図：縮尺1/2500相当の地図データに対応する図面
広域図：縮尺1/25000相当の地図データに対応する図面

1.施設

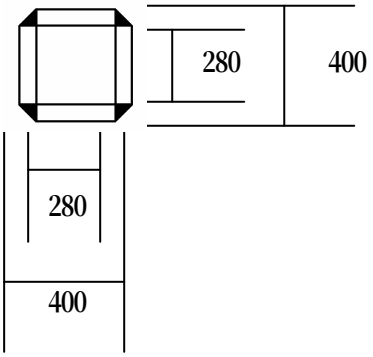
1) 設置装置なし



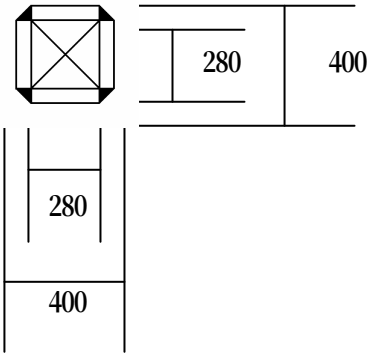
2) 成端箱のみ



3)測定装置＋成端箱あり

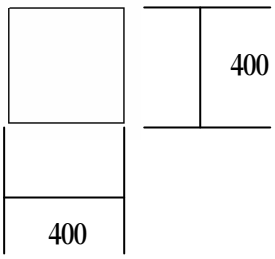


4)測定装置＋監視装置＋成端箱あり

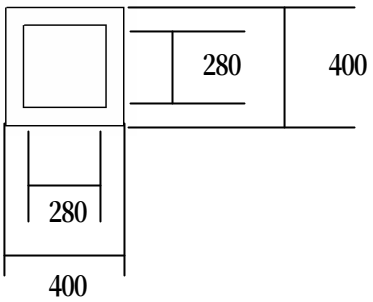


2.MH・HH・ＰＢ

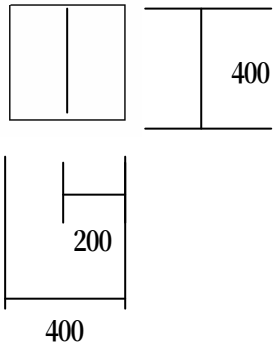
1)MH・HH（クロージャまたは成端箱なし）



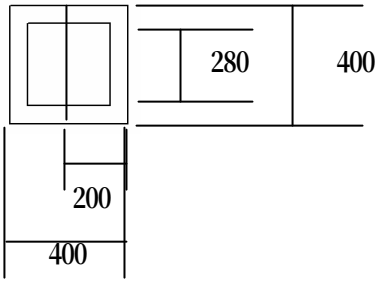
2)MH・HH（クロージャまたは成端箱あり）



3)ＰＢ・その他（クロージャまたは成端箱なし）

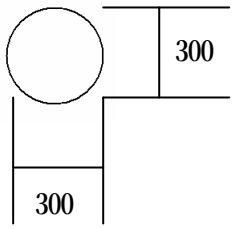


4)ＰＢ・その他（クロージャまたは成端箱あり）

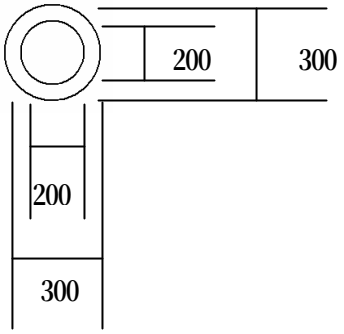


3.電柱

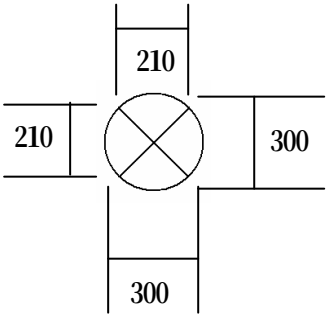
1) 借用柱（クロージャまたは成端箱なし）



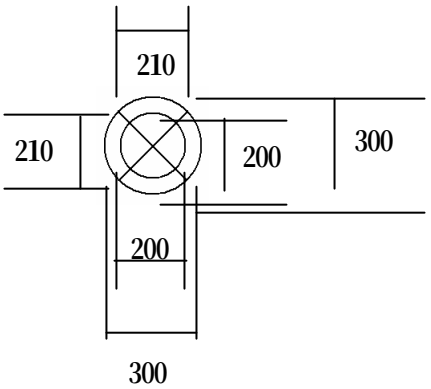
2) 借用柱（クロージャまたは成端箱あり）



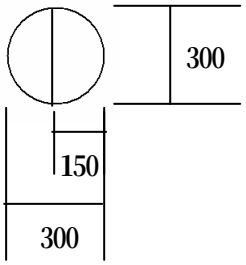
3) 自営柱（クロージャまたは成端箱なし）



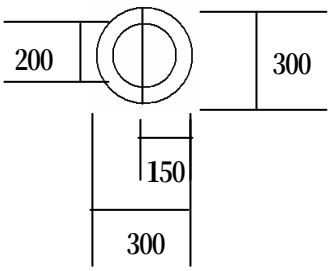
4) 自営柱（クロージャまたは成端箱あり）



5)その他（クロージャまたは成端箱なし）



6) その他（クロージャまたは成端箱あり）



4.ケーブル

ケーブルは、ポリラインとする。

実線、表示色は黒とする。

5.径間

径間は、ラインとする。

実線、表示色は黒とする。

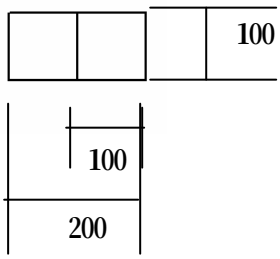
6.管路

管路はポリラインとする。

実線、表示色は黒とする。

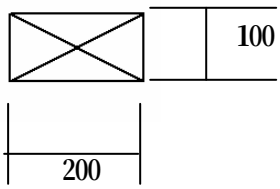
7.クロージャ

以下のサイズは系統図の場合とし、詳細図の場合は、系統図の1.5倍とする。



8.成端箱

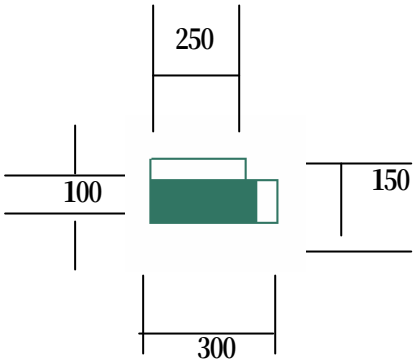
以下のサイズは系統図の場合とし、詳細図の場合は、系統図の1.5倍とする。



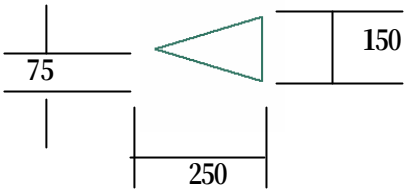
9.機器・装置

以下のサイズは設備図の場合とし、系統図の場合は、設備図の0.5倍とする。

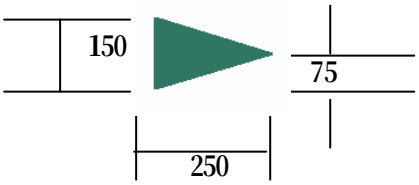
1)CCTV



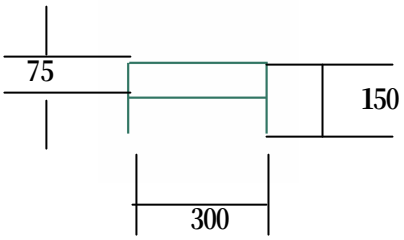
2）ビーコン（上り）



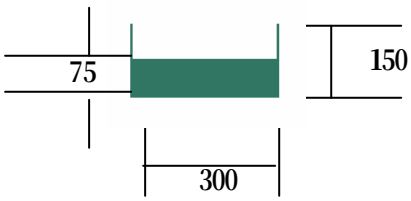
3）ビーコン（下り）



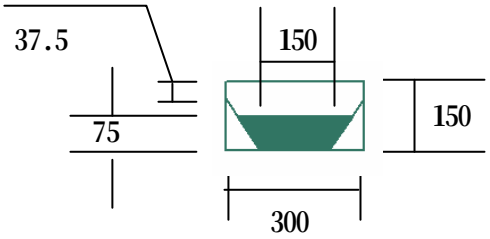
4）情報板（上り）



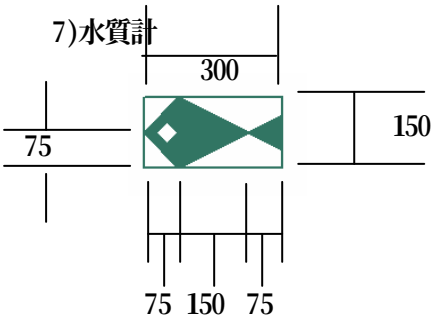
5）情報板（下り）



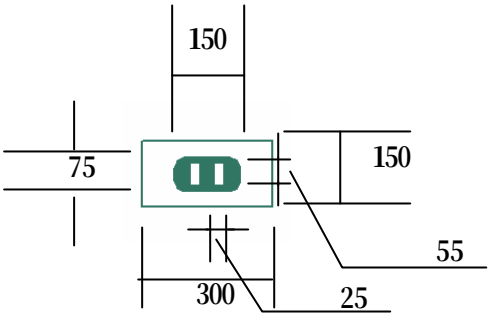
6)水位計



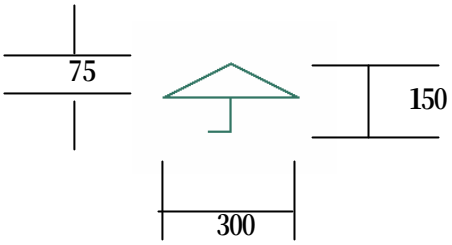
7)水質計



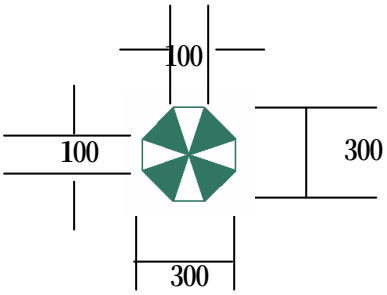
8)情報コンセント



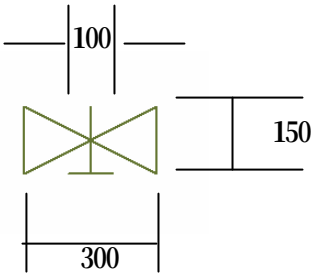
9)気象観測



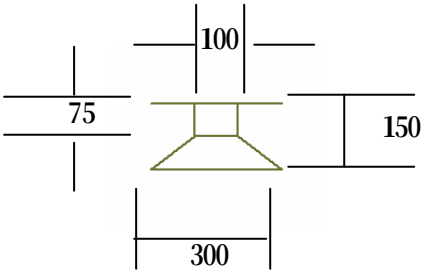
10)凍結検知



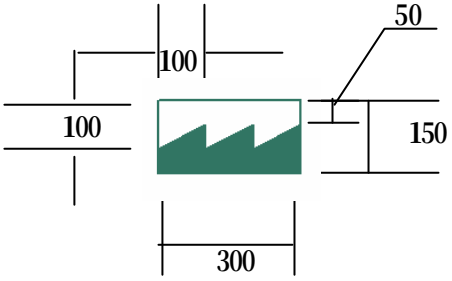
11)警報局



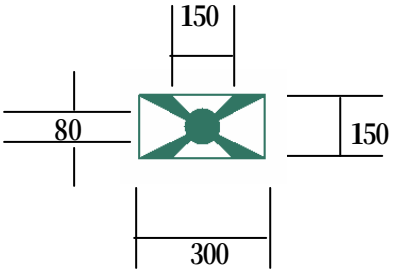
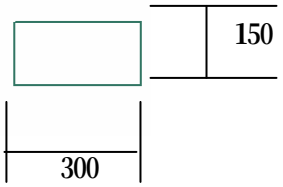
12)交通量観測



13)地震計



14)光センサー



15)その他